

新潟県文人研究

第二十七号

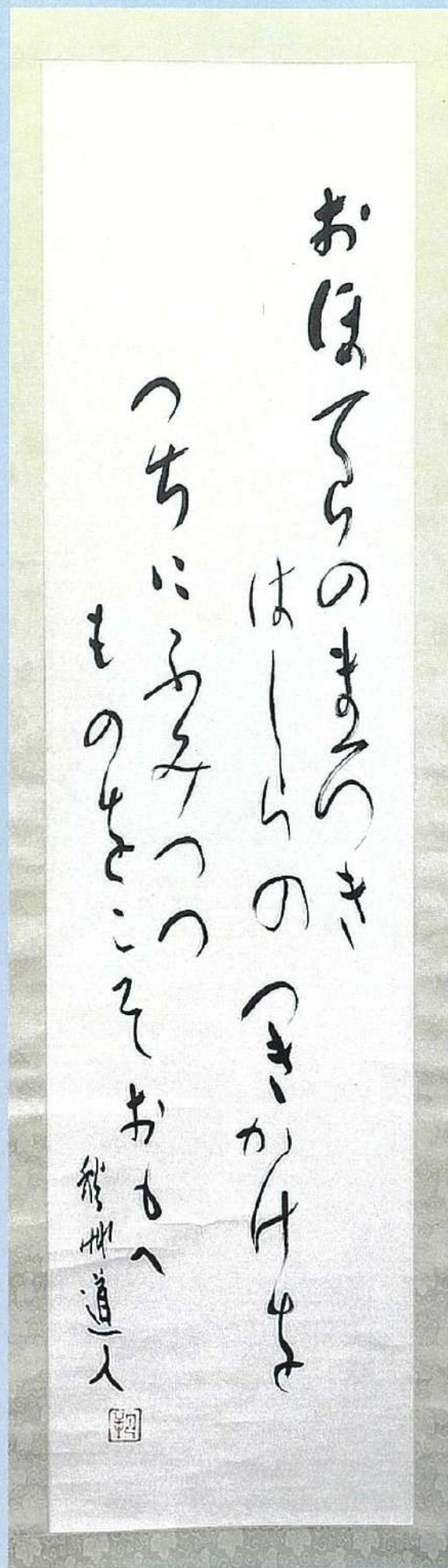
グラビア特集

會津八一（2）

片野松外コレクション



② 同右 朱竹自画讃 軸（69×35）
 「湘娥清淚未曾消 楚客芳魂不可招 公子離愁無處寫 露花風葉共蕭々 秋艸道人」



① 會津八一 おほてらの 軸（138×35）
 「おほてらの まろきはしら の つきかげを つちにふみつつ ものをこそおもへ 秋艸道人」

グラビア特集

會津八一(2)

片野松外コレクション

既刊号総目録

印人・山田正平の『正気印譜』に関わる作風の考察

永谷寺における羽下修三の作品考察

日下部鳴鶴の若書に関する初探的考察

南画家・伊東伯陽の作品における中国文芸の受容

近代中日書文化交流史に関する研究——楊守敬関連資料の略述

會津八一書の鑑賞への試み

二人の間」——として生きるために——會津八一 大戦下の思惟——

明治三十二年 亡命韓客陸鍾允と黃鉄の越後・佐渡における足跡・詩作・交流―補遺及び訂誤

泥舟先生 北越漫遊の旅

龜田鵬齋遺墨「彌彦山後浦」の発見と史料的价值について

江戸遊学前後の鈴木文台詩への良寛の影響について

藍澤南城の詠物詩（一）

越後国古岡、農家の蔵から発見

御風と柊二へのメモ

横山大観の没線彩画の成立と周辺について

乙川文獅とその周辺

東伍と次兄の発信した長兄旗野餘太郎宛の書簡の周辺

江戸時代末に発行された新潟町諸絵図の公的文書『新潟表記録』からの検証

五十嵐浚明 四世の孫

新潟県の近代詩成立過程（八）——長沢佑の業績と足跡について——

良寛の悲と詩と美　きみへ―四の手紙（その二）

旧制新潟高等学校所蔵の美術品について―八田校長先生からの贈り物―

新潟県の俳句のことなど

三芳悌吉が描いた栄螺堂（本堂）について

令和六年 受贈図書

代表の一年（令和六年の活動）

編集後記

— 13 —

新潟県文人研究 第二十七号

ISSN 2435-3493

発行日 令和六年十一月十七日

編集発行 新潟大学大学院現代社会文化研究科
越佐文人研究会

代表 岡村 鉄 琴(浩・新潟大学教授)

〒九五〇―二一八一

新潟市西区五十嵐二の町八〇五〇

新潟大学教育学部内

電話 〇二五―二六二―七三二六

E-mail: okamura@ed.niigata-u.ac.jp